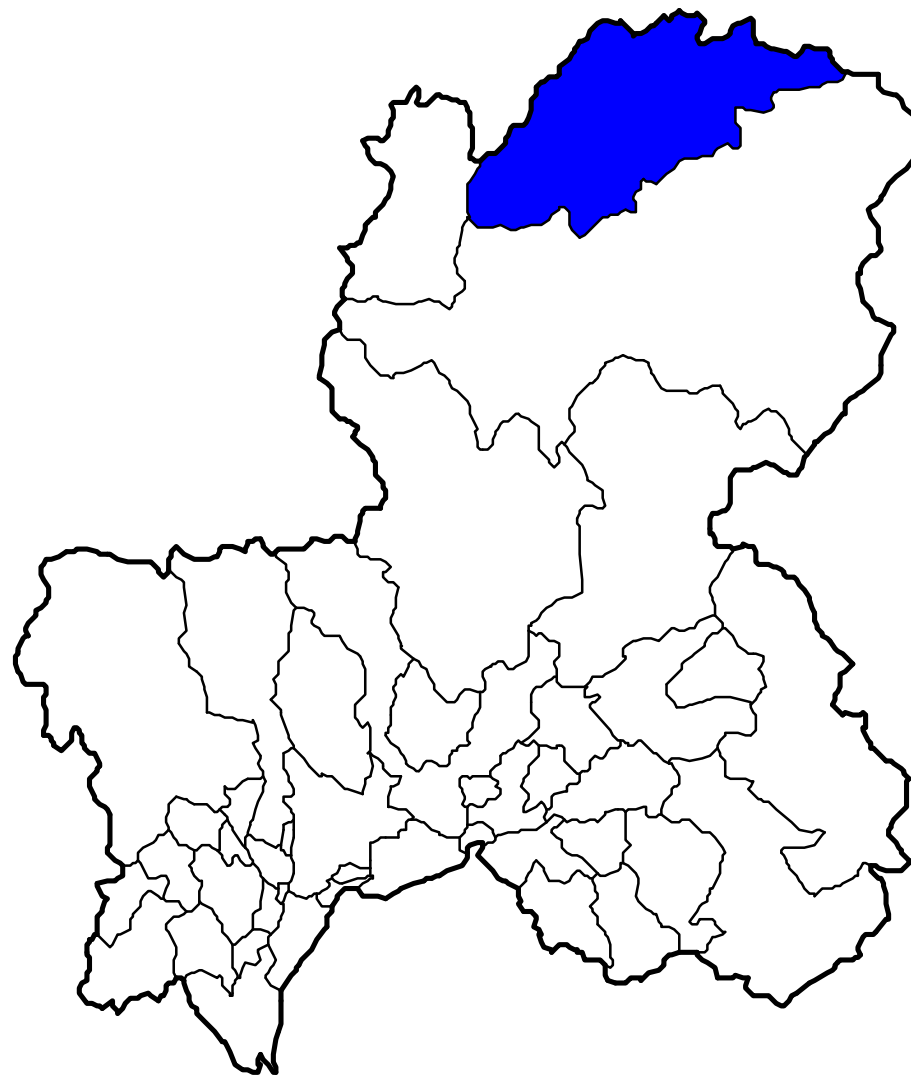


統計からみた 飛騨市 の現状



| 総面積km ² | 割合% | 順位 |
|--------------------|------|----|
| 792.53 | 7.46 | 5 |

※割合＝県全体に占める割合

<平成以降の合併> 2004.2.1
古川町、河合村、宮川村、神岡町

岐阜県環境生活部統計課
2024年3月更新

飛騨市の人口は減少が続いている

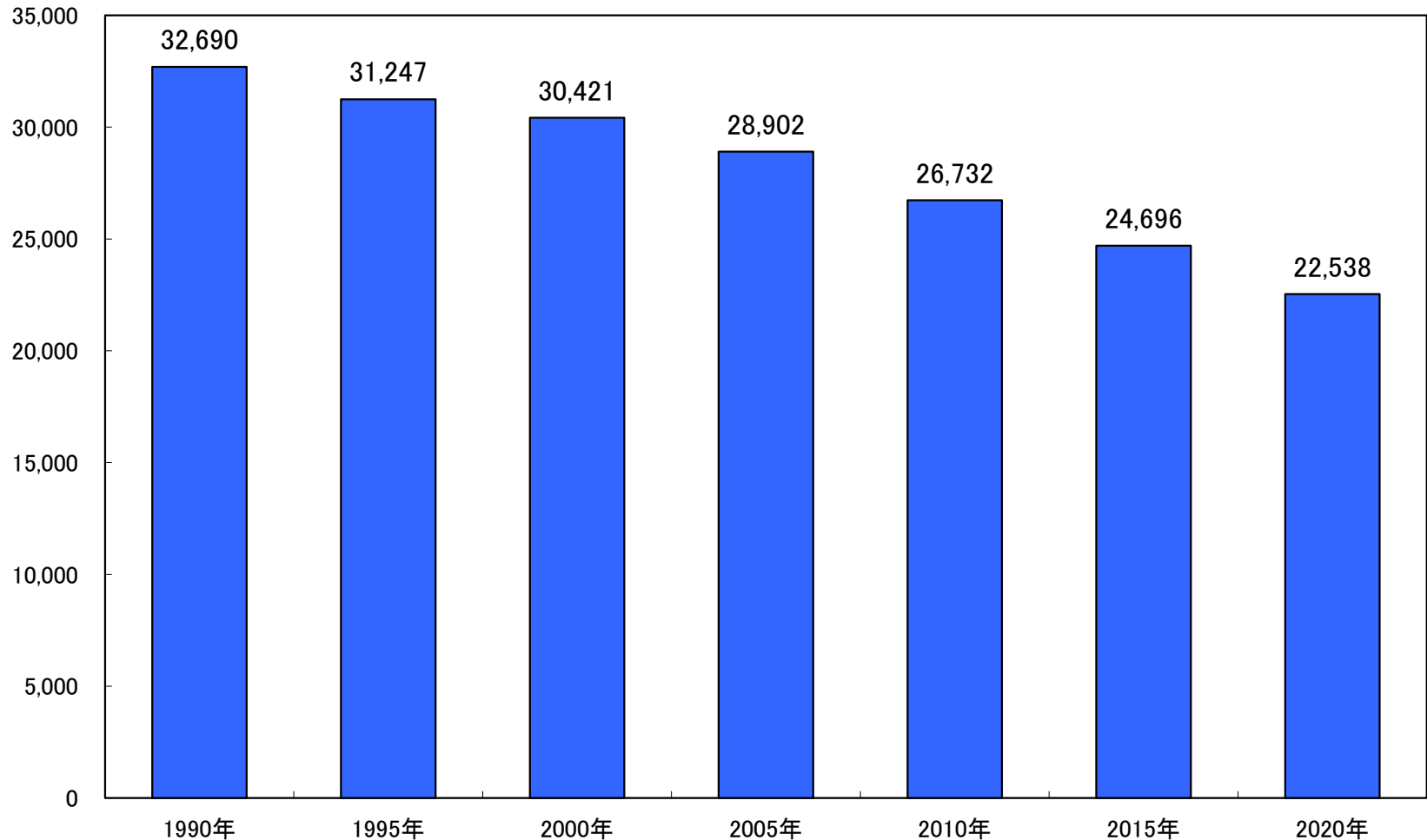
2010年：26,732人 → 2015年：24,696人 (△2,036人)

2015年：24,696人 → 2020年：22,538人 (△2,158人)

人口順位：県内24位 県人口に占める割合：1.6% (1990年) → 1.1% (2020年)

(人)

総人口の推移(飛騨市)

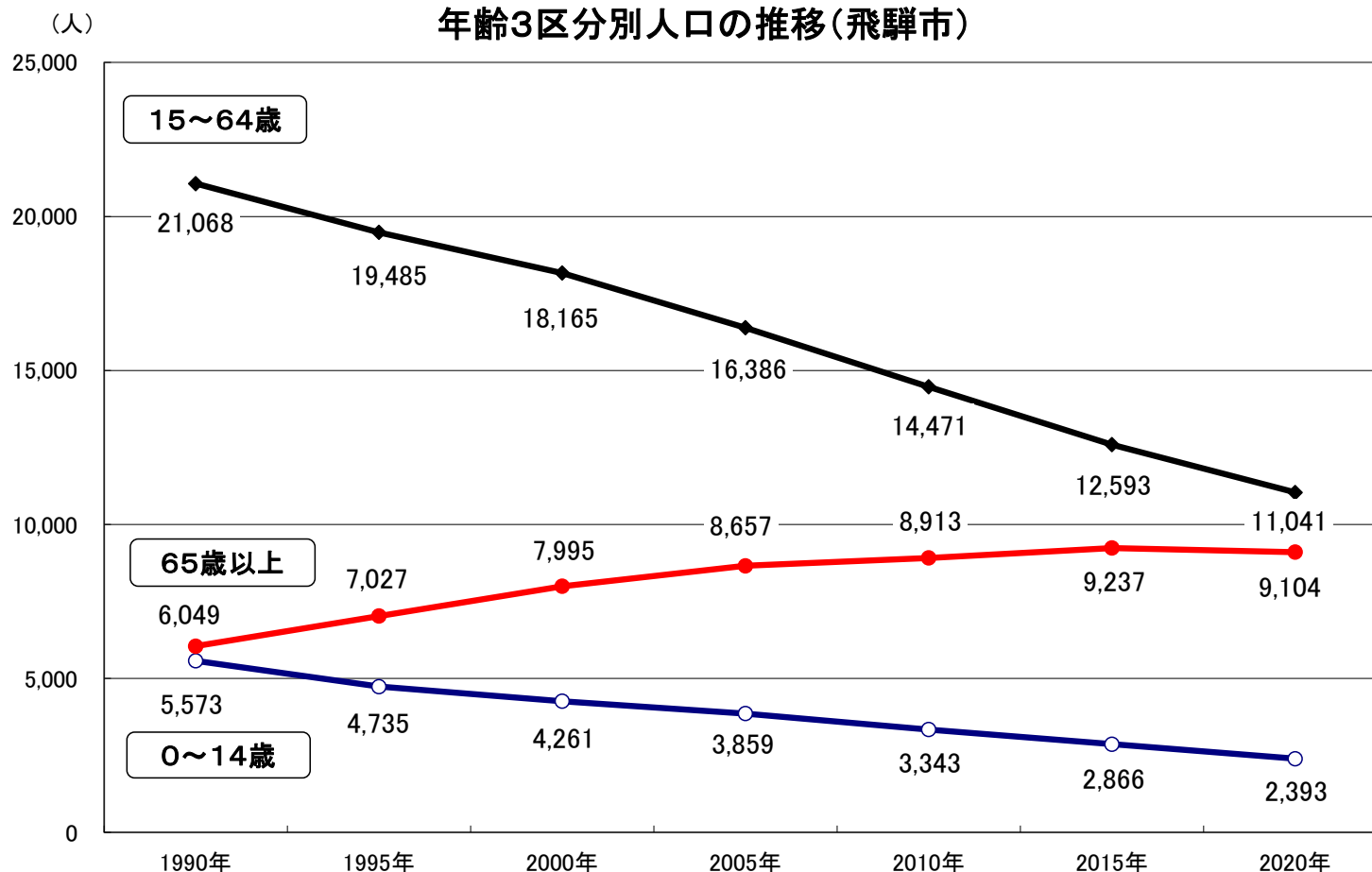


0～14歳の子どもが減り続ける一方、65歳以上の高齢者は増加 15～64歳人口は大幅な減少が続く

| 人口の増減数 | 2010→2015年 | 2015→2020年 |
|--------|------------|------------|
| 0～14歳 | △ 477 | △ 473 |
| 15～64歳 | △ 1,878 | △ 1,552 |
| 65歳以上 | 324 | △ 133 |

| | 年齢3区分別人口の割合 (2020年) | | |
|--------|---------------------|-------|------|
| | 飛騨市 | 岐阜県 | 県内順位 |
| 0～14歳 | 10.6% | 12.3% | 33位 |
| 15～64歳 | 49.0% | 57.3% | 38位 |
| 65歳以上 | 40.4% | 30.4% | 5位 |

年齢3区分別人口の推移(飛騨市)

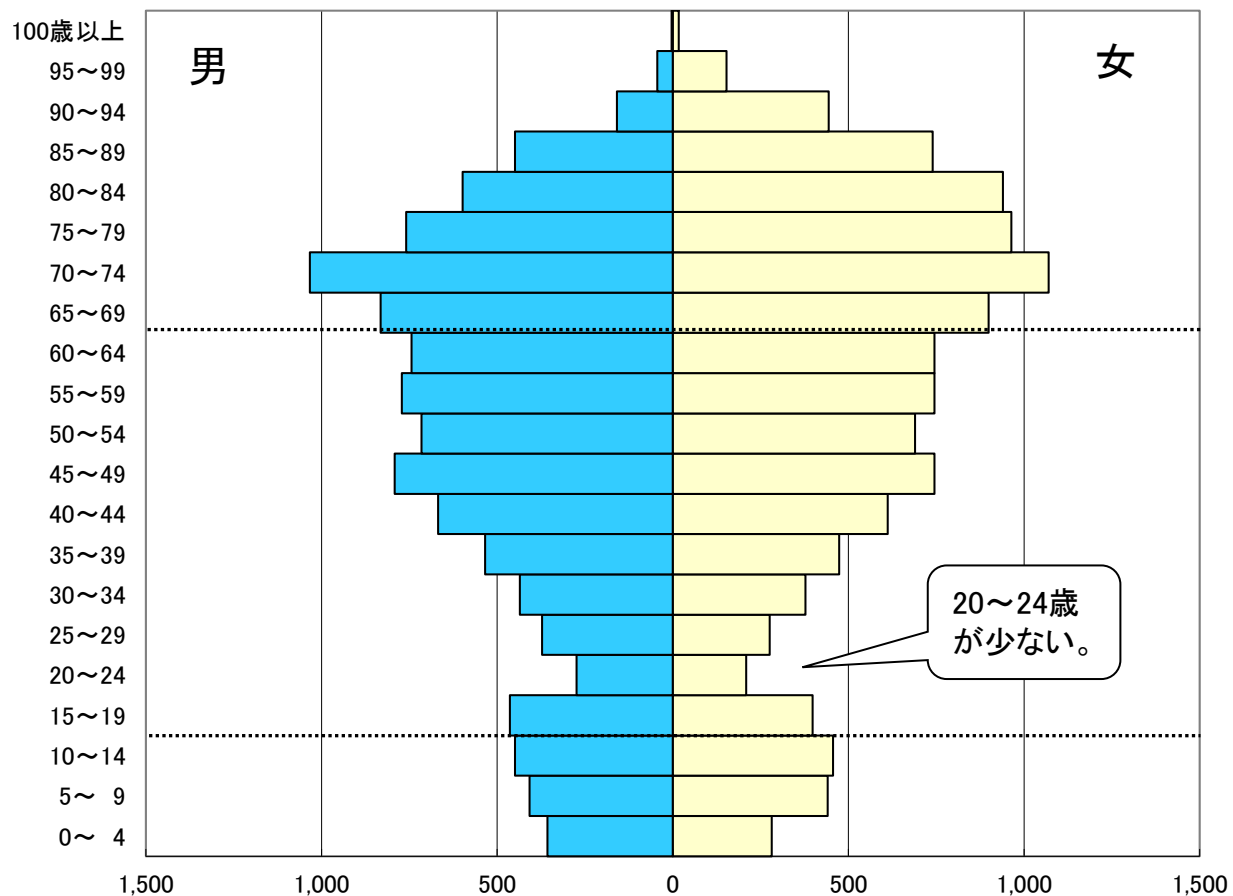


若い世代が少なく、中高年層に大きな厚みのある年齢構造 60代70代人口が多い

厚みのある中高年層が65歳以上となり、高齢者はさらに増加するとみられる。

人口に占める65歳以上人口の割合 1990年：18.5%（7位） → 2020年：40.4%（5位）

2020年人口ピラミッド（飛騨市）



| | 人口(人) | 構成比(%) |
|--------|--------|--------|
| 総人口 | 22,538 | 100.0 |
| 0～14歳 | 2,393 | 10.6 |
| 15～64歳 | 11,041 | 49.0 |
| 65歳以上 | 9,104 | 40.4 |

＜岐阜県全体の人口構成＞

- ・0～14歳：12.3%
- ・15～64歳：57.3%
- ・65歳以上：30.4%

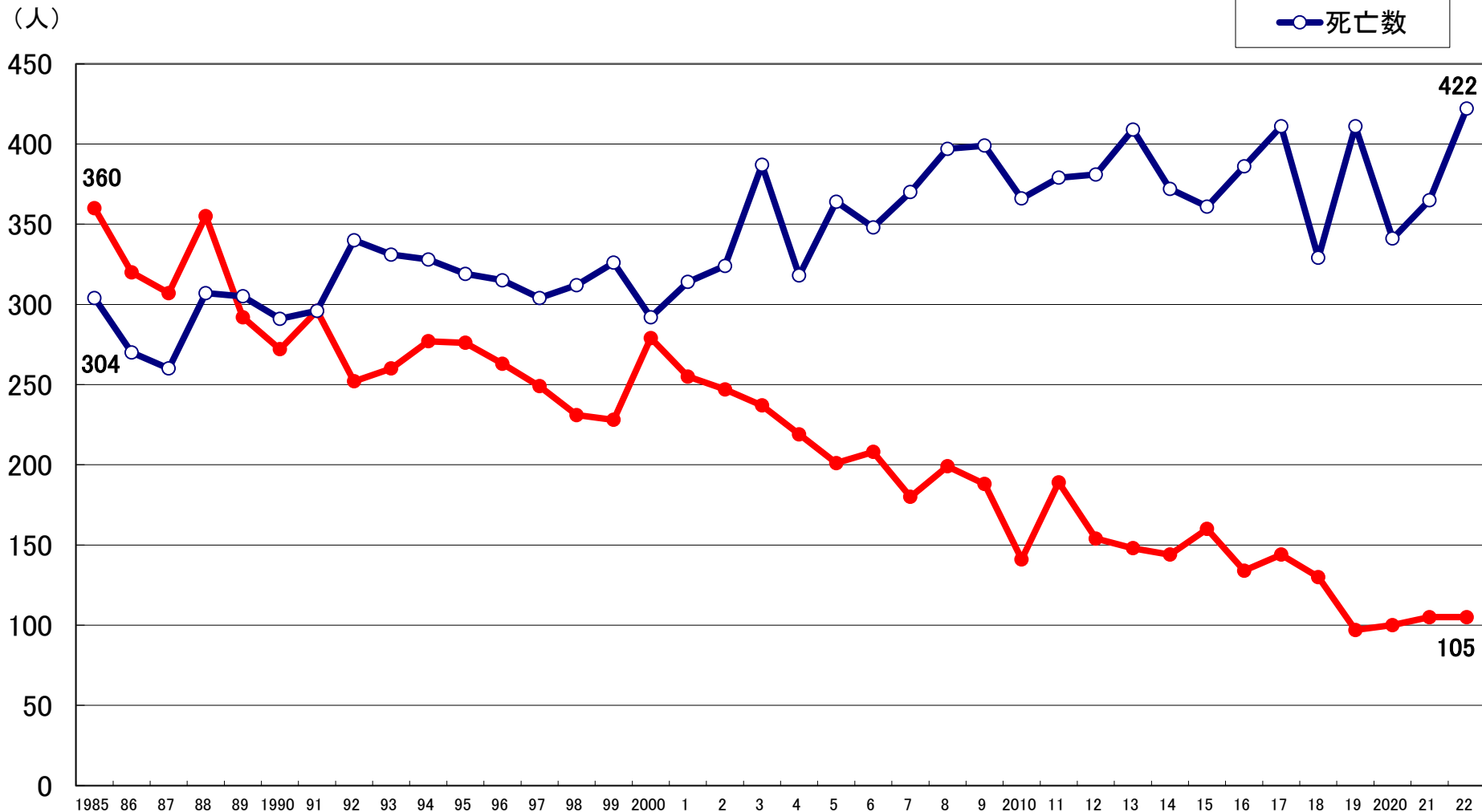
＜構成比の県内順位＞

- ・0～14歳人口：33位
 - ・15～64歳人口：38位
 - ・65歳以上人口：5位
- ※数値の大きい順

出生数が減少する一方、死亡数が増加 1992年以降、死亡数が出生数を上回る自然減少が続く

2022年の自然動態：出生数105人 死亡数422人 317人の自然減少

出生数・死亡数の推移(飛騨市)



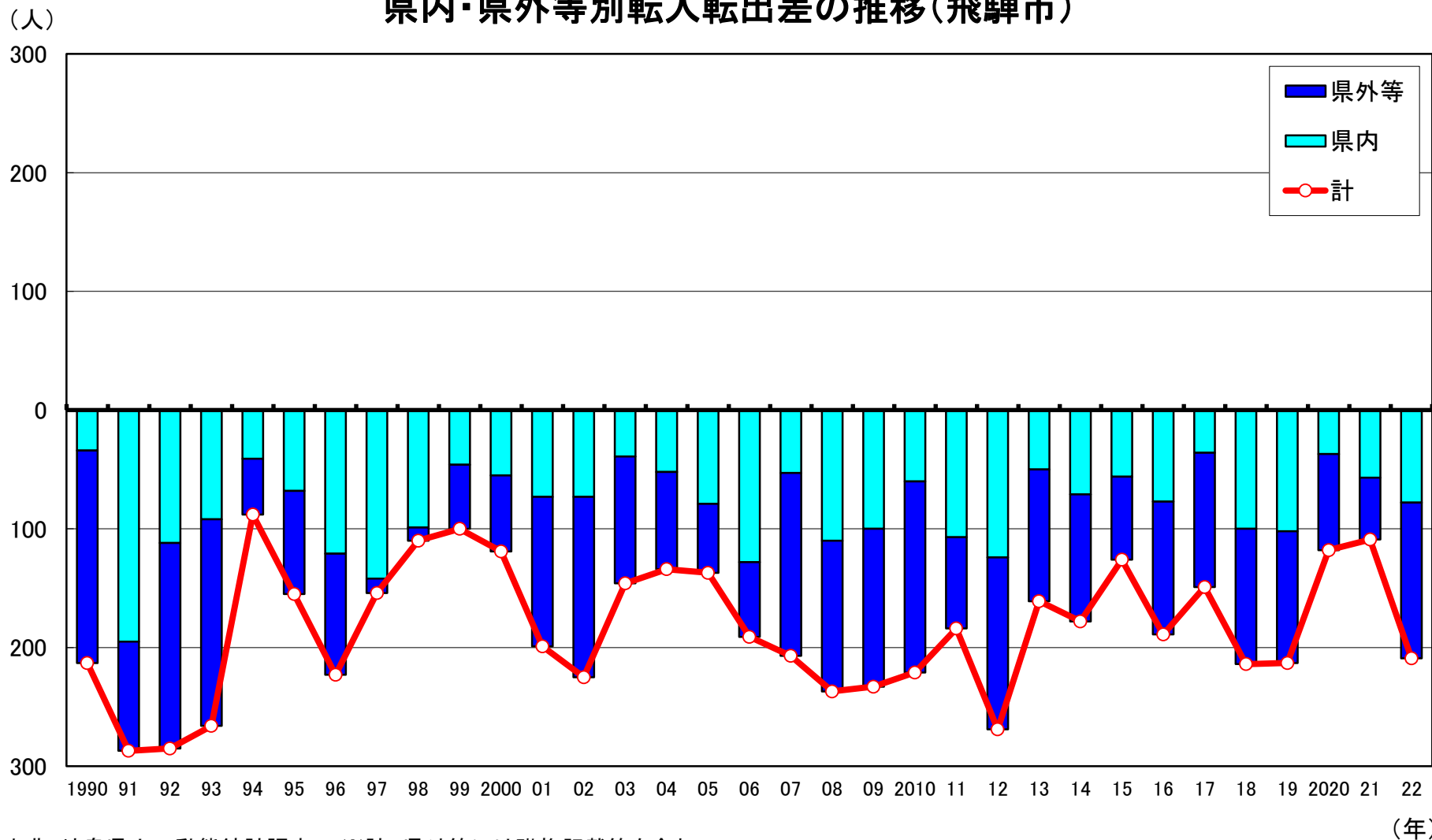
出典：厚生労働省「人口動態統計」(日本人 1～12月の年計)

(年)

過去30年以上、転出超過が続く

2022年の社会動態：転入513人 転出722人 209人の転出超過

県内・県外等別転入転出差の推移(飛驒市)

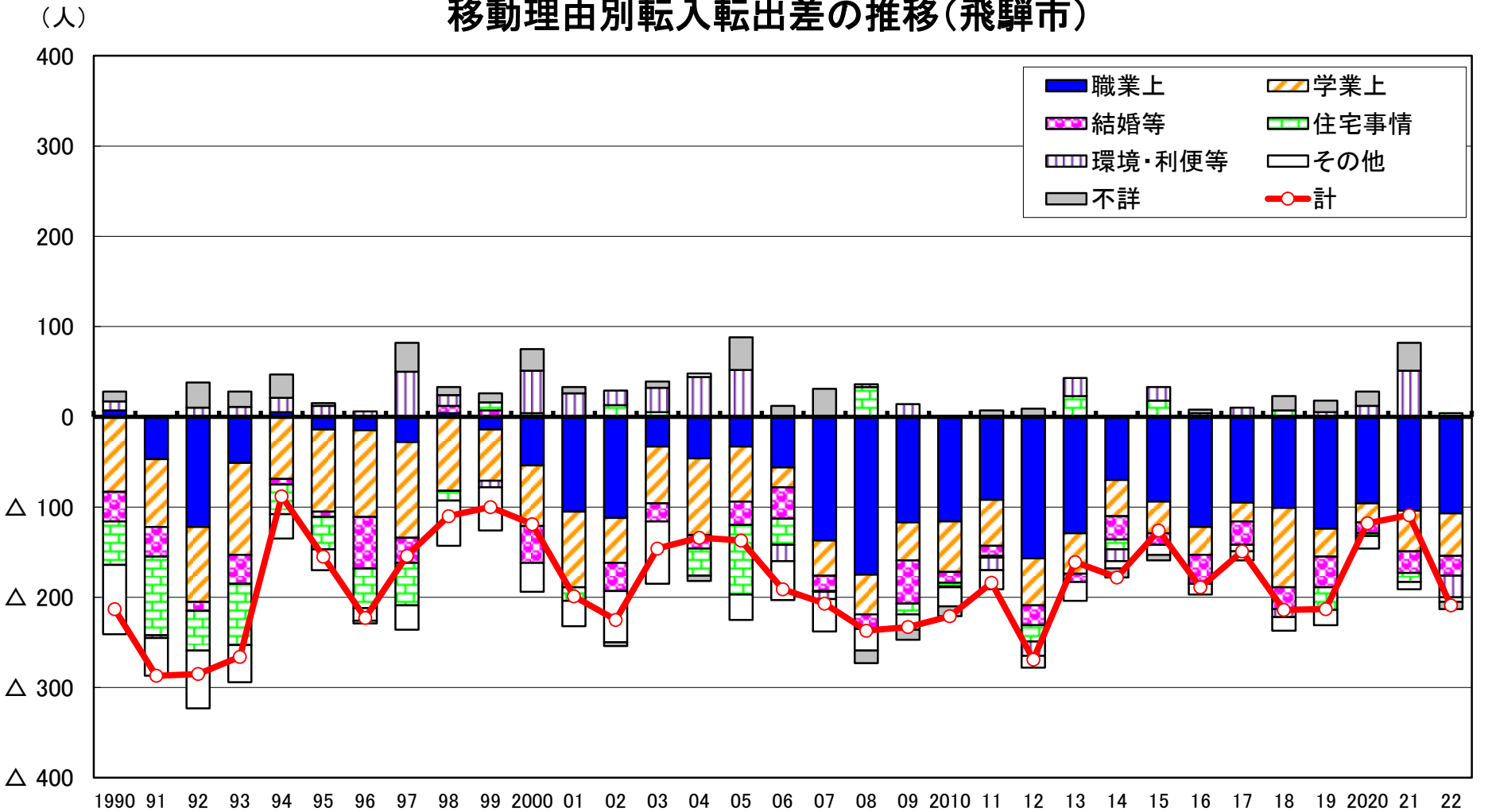


出典：岐阜県人口動態統計調査 ※計、県外等には職権記載等を含む。

※転入転出数は前年10月1日～同年9月30日の合計

職業上、学業上を主な理由とした転出超過が続く

移動理由別転入転出差の推移(飛騨市)

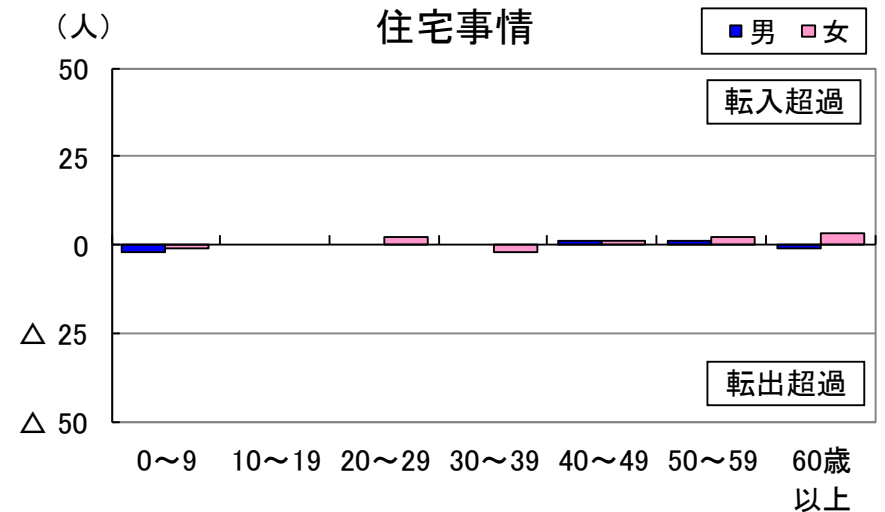
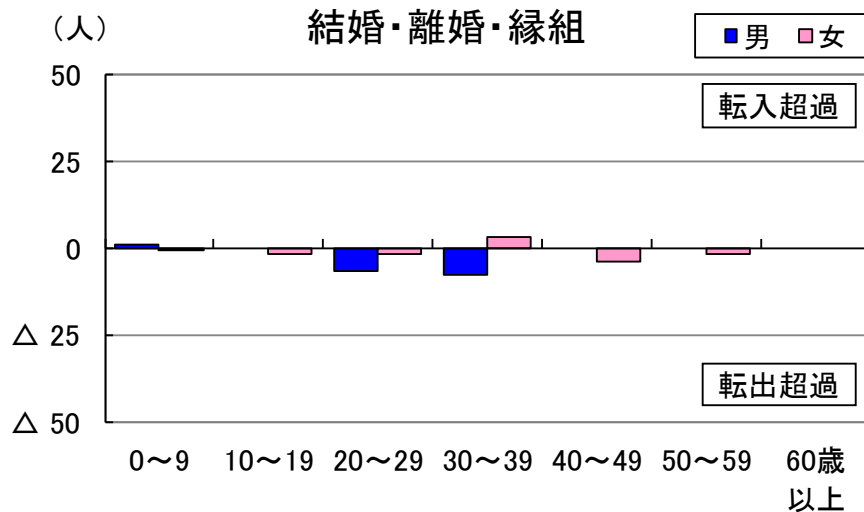
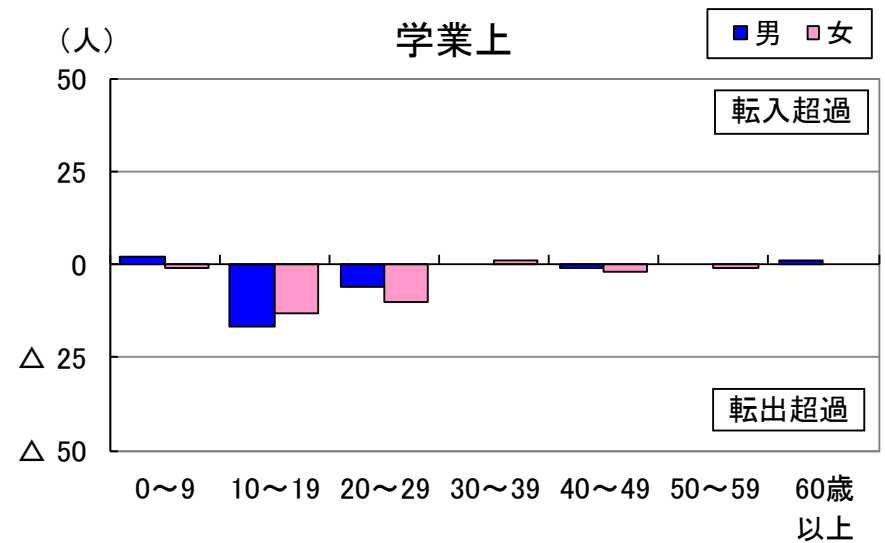
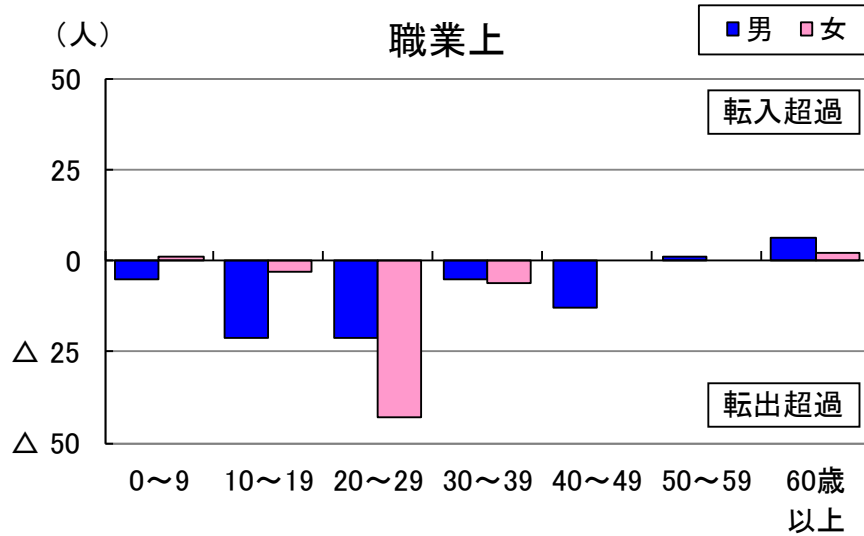


出典: 岐阜県人口動態統計調査(不詳=外国人+職権、環境・利便等=生活環境の利便+自然環境+交通の利便)

(年)

職業上、学業上を理由とした10～20代の転出超過が多い

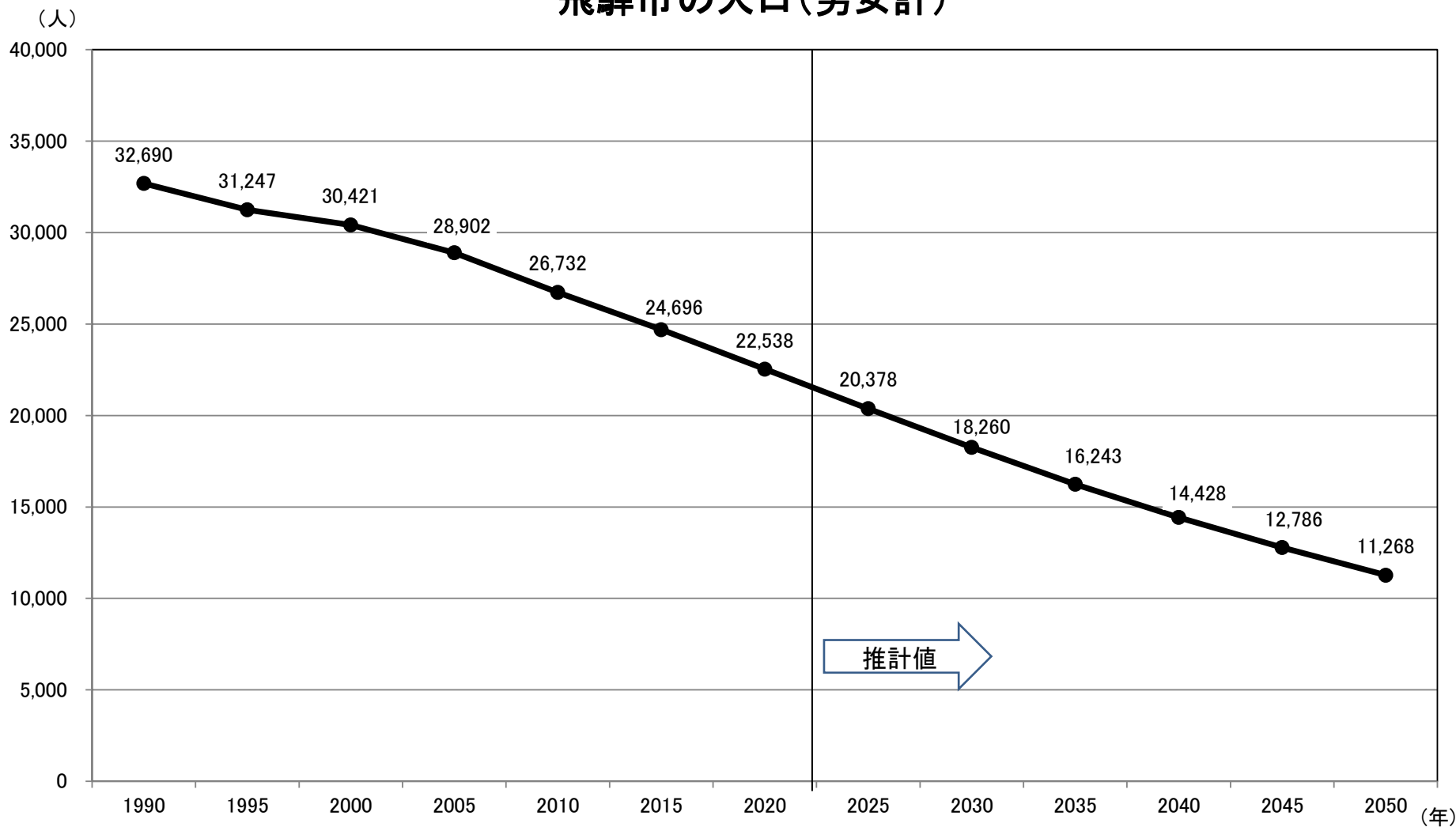
主な移動理由でみた世代別日本人の社会動態(飛騨市 2022年)



参考：将来の人口の見通し（総人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

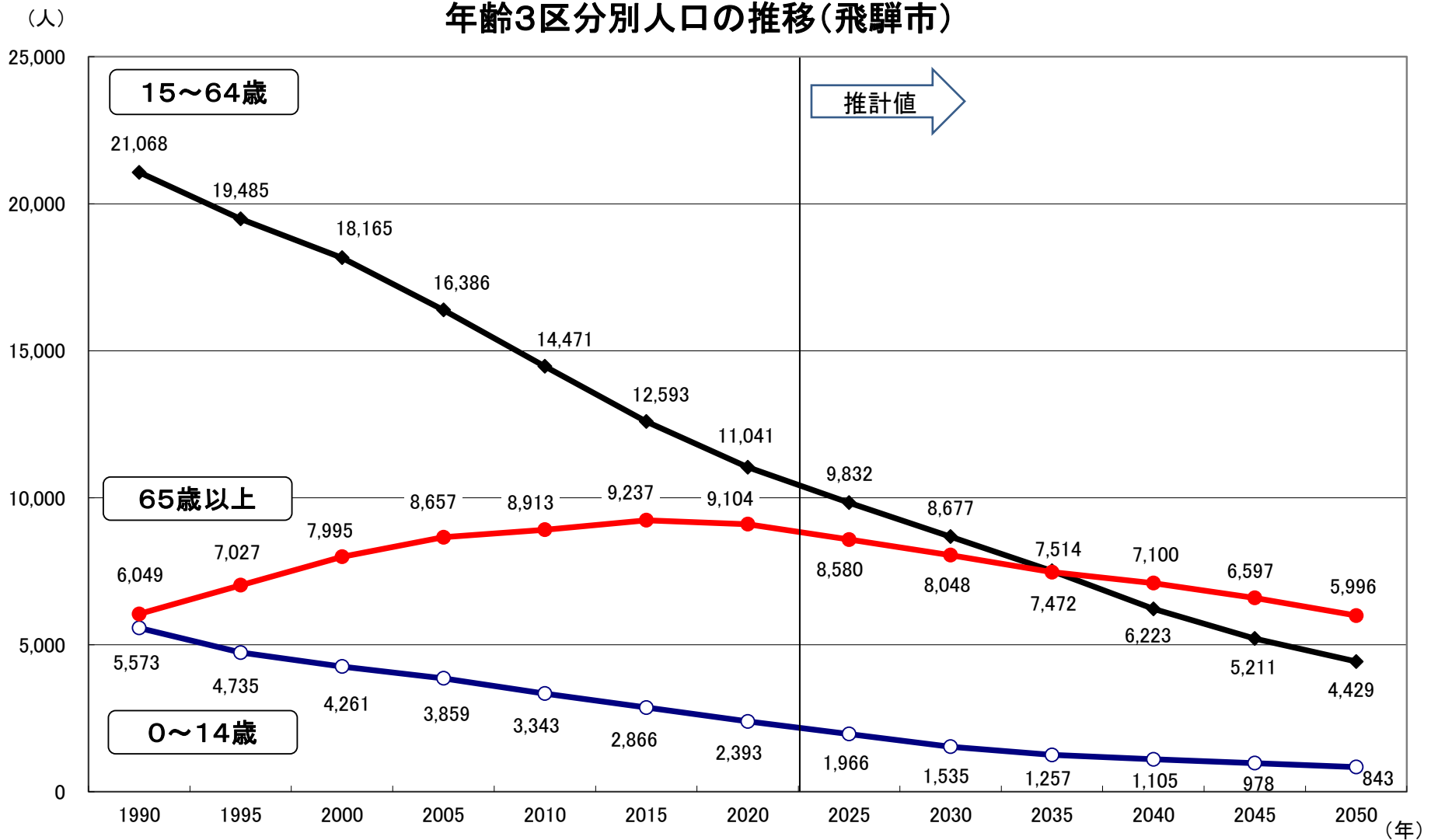
飛騨市の人口(男女計)



出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

参考：将来の人口の見通し（年齢3区分別人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」



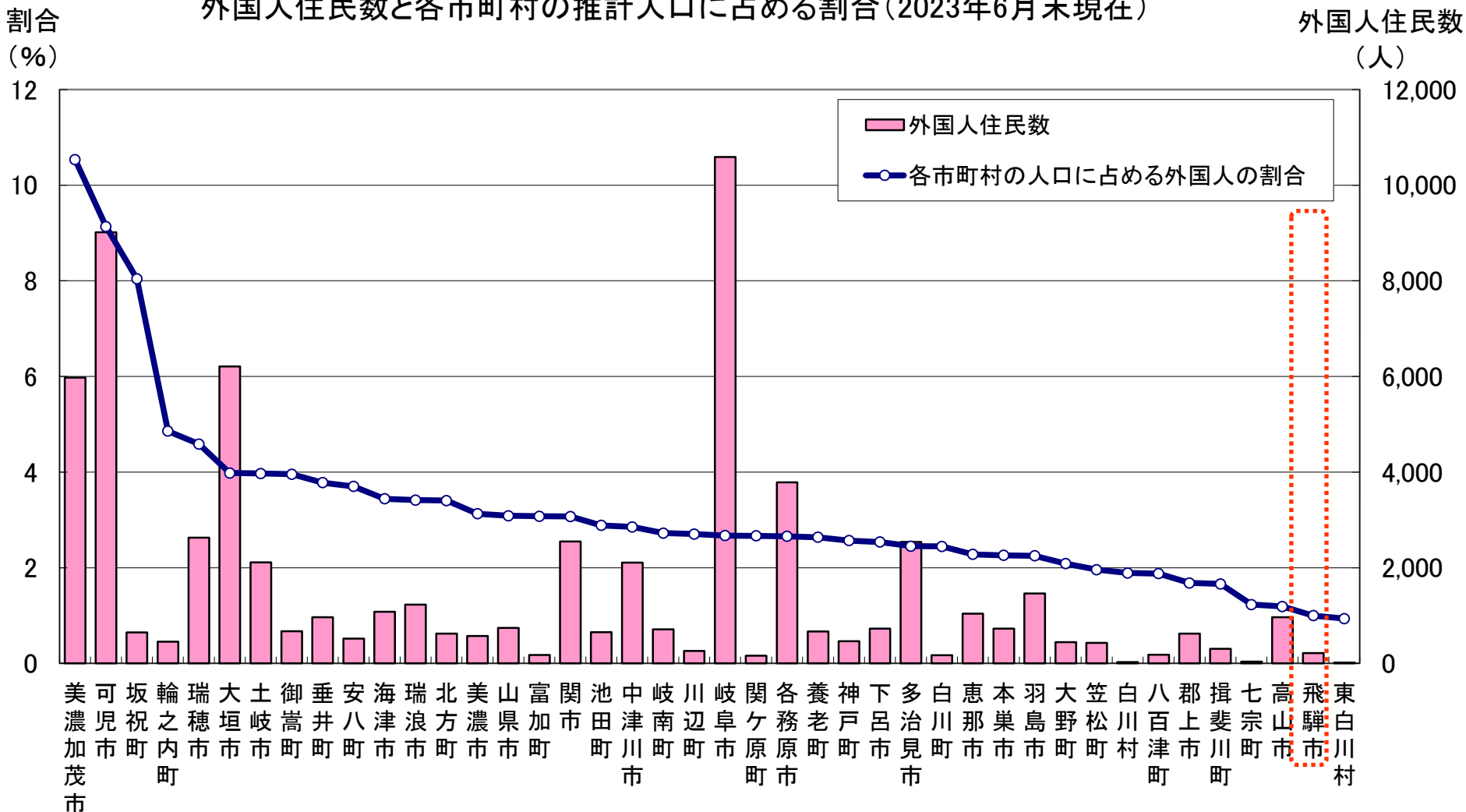
出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

注：2015年、2020年の年齢3区分別人口は、不詳補完値。

人口に占める外国人の割合は1.0%（県内41位）

岐阜県の外国人住民数65,475人のうち、飛騨市の外国人住民数（213人）は0.3%を占める

外国人住民数と各市町村の推計人口に占める割合（2023年6月末現在）



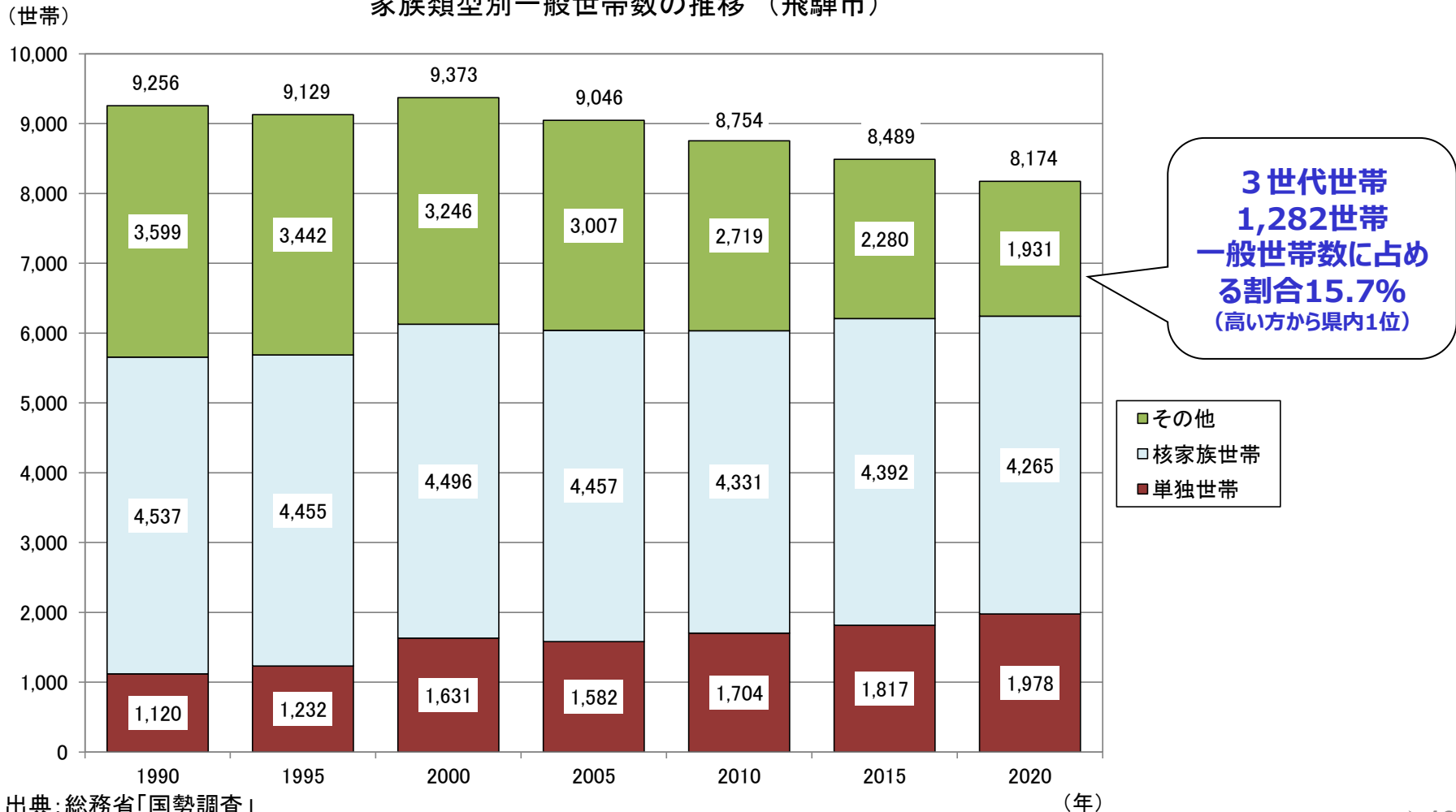
出典：法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計（2023年6月末現在）」、割合は岐阜県「人口動態統計調査」による推計人口（2023年7月1日現在）により算出。

一般世帯数が減少し、1世帯当たり人員数も減少 単独世帯は増加傾向

単独世帯は1990年以降の30年間で1.8倍に。

1世帯当たり人員数：2.99人（2010年）→2.67人（2020年 県内11位）

家族類型別一般世帯数の推移（飛騨市）

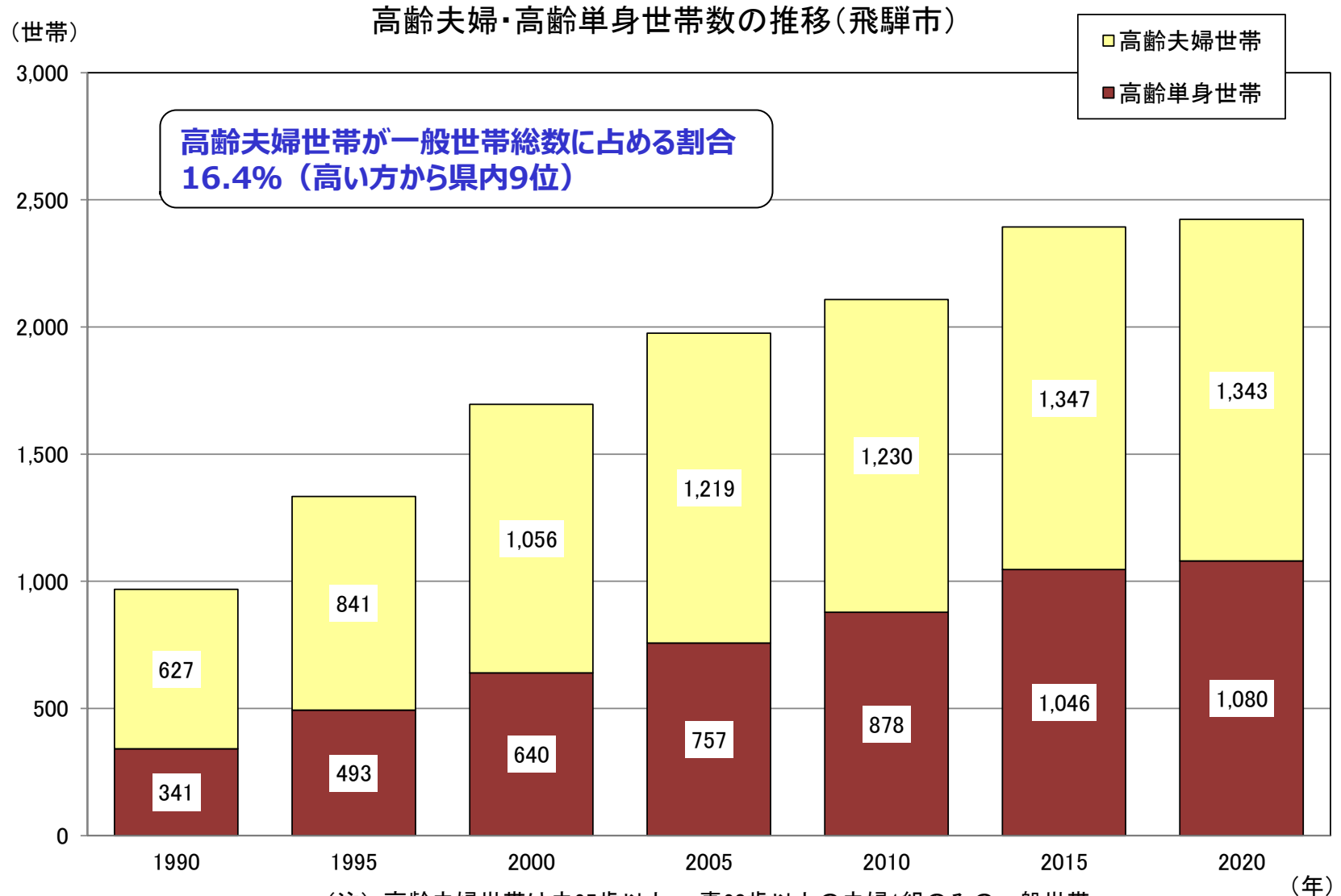


出典：総務省「国勢調査」

注：一般世帯は、病院、社会福祉施設などで生活する人を除いたもの。

高齢夫婦世帯や高齢単身世帯が大きく増加

1990年以降の30年間で高齢夫婦世帯は2.1倍、高齢単身世帯は3.2倍に増加。



(注)・高齡夫婦世帯は夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯

・高齡単身世帯は65歳以上の人一人のみの一般世帯

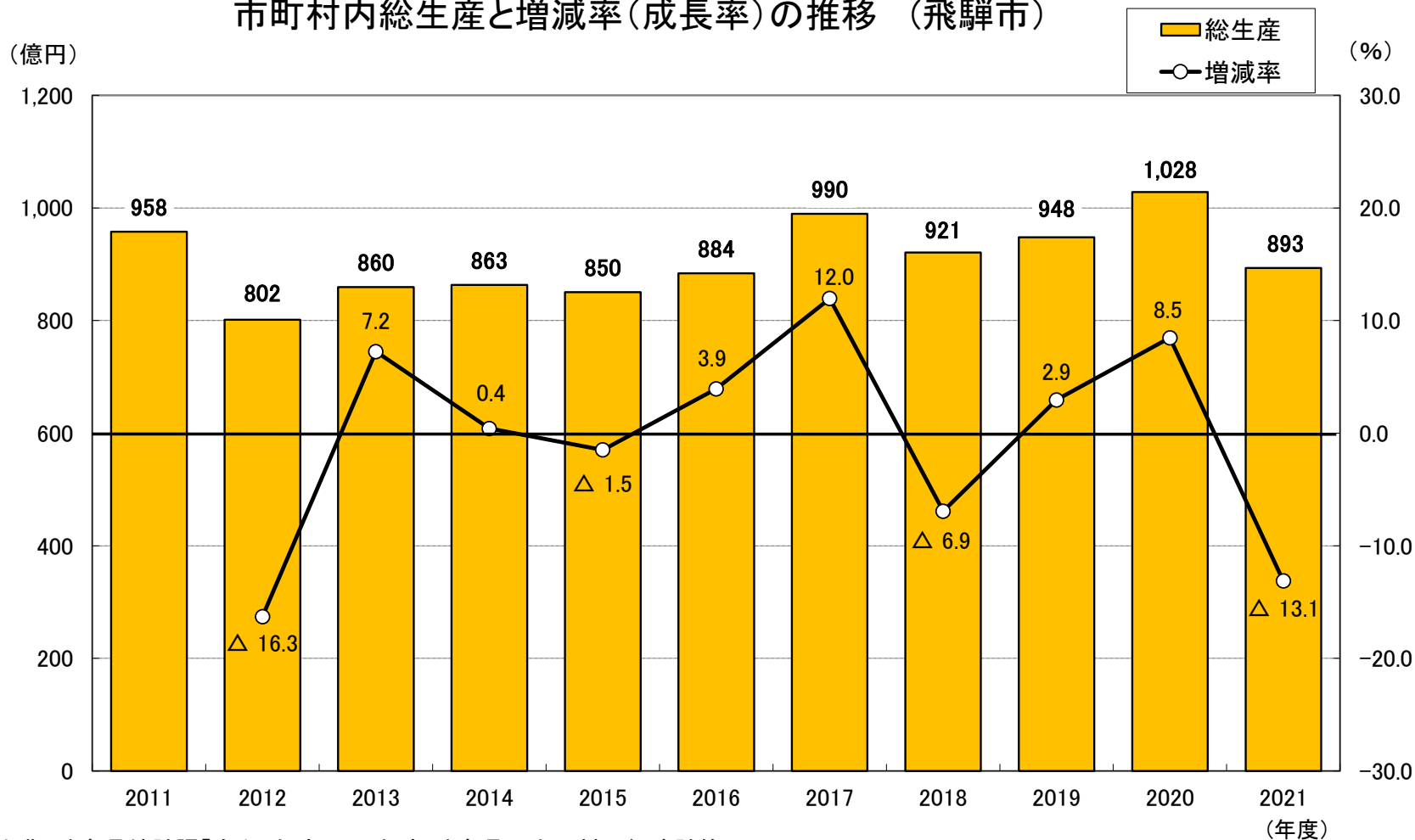
飛騨市の総生産は893億円 1人当たり市町村民所得は294万5千円

総生産は県（名目8兆110億円）の1.1%、県内23位

1人当たり市町村民所得は県（309万2千円）の95.2%、県内27位

※ 1人当たり所得には企業所得等を含み、市町村全体の経済水準を示すもの

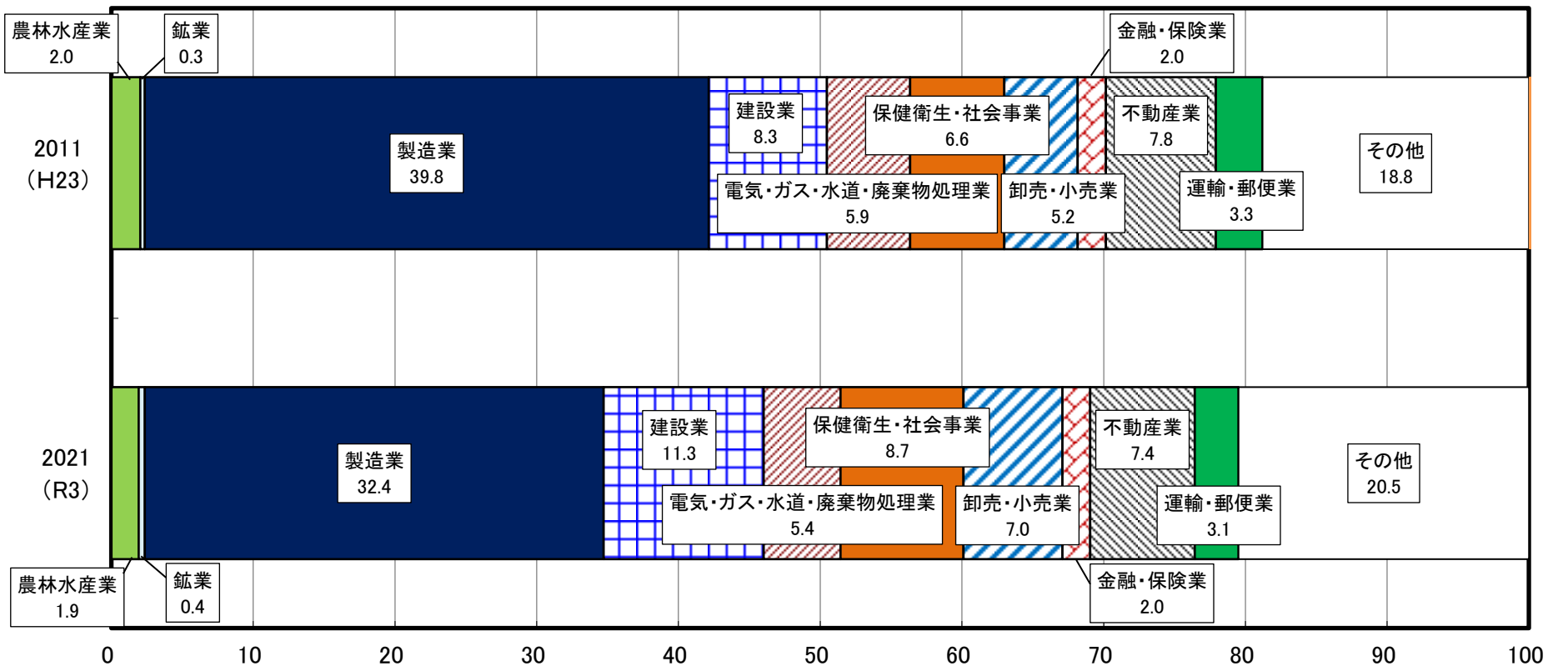
市町村内総生産と増減率（成長率）の推移（飛騨市）



第2次産業が44%、第3次産業が53%を占める産業構造

製造業、建設業の割合が高い

市町村内総生産の経済活動別構成比 (飛騨市)



出典: 岐阜県統計課「令和3年度(2021年度)岐阜県の市町村民経済計算」

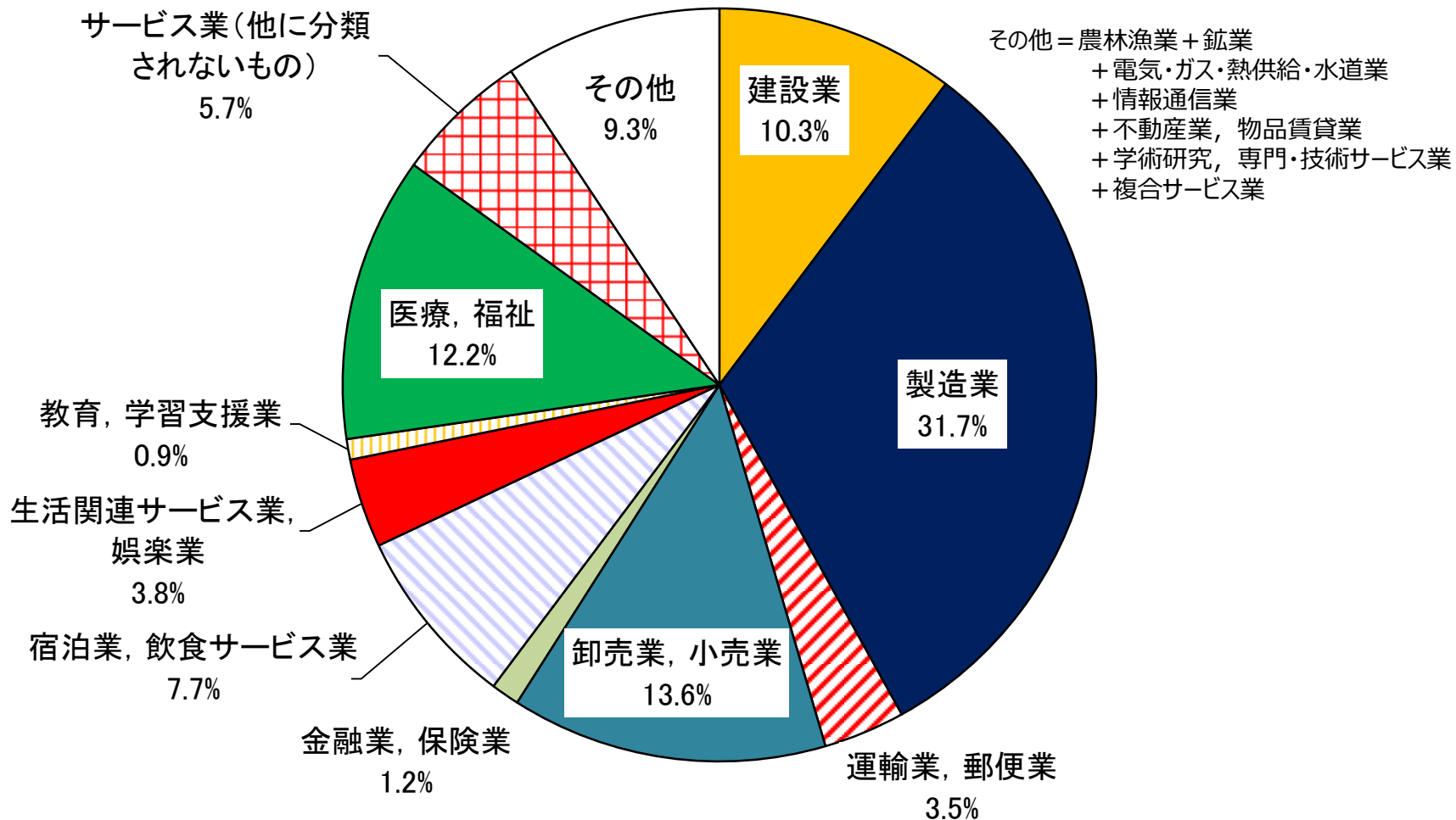
注1: 「不動産業」には、持ち家の帰属家賃を含んでいる。

注2: 「その他」は、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、その他のサービスの合計。

なお、輸入品に課される税・関税等も含めている。

産業別の従業者数は、製造業が31.7%と最も多く、次いで卸売業,小売業が13.6%を占める

産業別従業員数の構成比(飛騨市 2021年)



出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」
注：事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

産業別従業者でみると、全国と比べて、 鉱業、農林漁業の特化係数が高いことが特徴

産業別事業所数、従業者数（飛騨市 2021年）

| | 事業所数 | 従業者数 | | 産業別従業者数の 構成比による特化係数 | |
|-------------------|-------|-------|-------|------------------------|--------|
| | | (人) | 構成比 | 全国=1.00 | 県=1.00 |
| 総数 | 1,371 | 9,952 | 100.0 | 1.00 | 1.00 |
| 農林漁業 | 37 | 299 | 3.0 | 3.84 | 2.78 |
| 鉱業 | 3 | 32 | 0.3 | 9.46 | 4.81 |
| 建設業 | 166 | 1,021 | 10.3 | 1.59 | 1.51 |
| 製造業 | 136 | 3,155 | 31.7 | 2.09 | 1.28 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 7 | 46 | 0.5 | 1.33 | 1.50 |
| 情報通信業 | 4 | 32 | 0.3 | 0.09 | 0.43 |
| 運輸業, 郵便業 | 24 | 348 | 3.5 | 0.62 | 0.77 |
| 卸売業, 小売業 | 302 | 1,350 | 13.6 | 0.68 | 0.71 |
| 金融業, 保険業 | 18 | 121 | 1.2 | 0.47 | 0.53 |
| 不動産業, 物品賃貸業 | 26 | 111 | 1.1 | 0.40 | 0.63 |
| 学術研究, 専門・技術サービス業 | 52 | 293 | 2.9 | 0.81 | 1.30 |
| 宿泊業, 飲食サービス業 | 209 | 771 | 7.7 | 0.96 | 0.95 |
| 生活関連サービス業, 娯楽業 | 126 | 381 | 3.8 | 1.02 | 0.95 |
| 教育, 学習支援業 | 51 | 88 | 0.9 | 0.26 | 0.33 |
| 医療, 福祉 | 103 | 1,218 | 12.2 | 0.87 | 0.92 |
| 複合サービス事業 | 18 | 115 | 1.2 | 1.54 | 1.27 |
| サービス業(他に分類されないもの) | 89 | 571 | 5.7 | 0.64 | 0.80 |

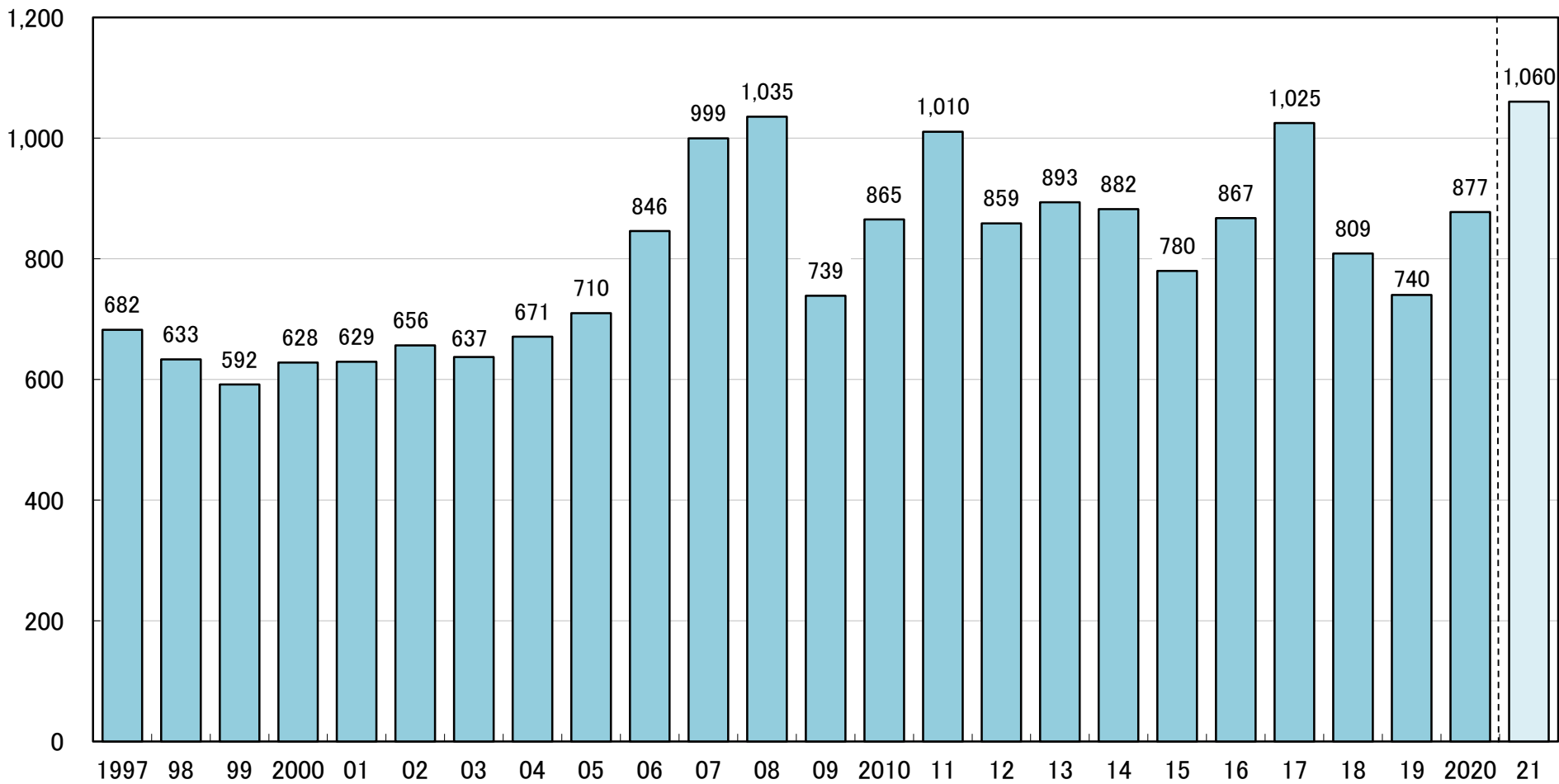
出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」

注) 事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

2021年の製造品出荷額等は、1060億円

製造業製造品出荷額等の推移（飛騨市）

（億円）



出典：2021年は総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」（全事業所、個人経営を含まない）

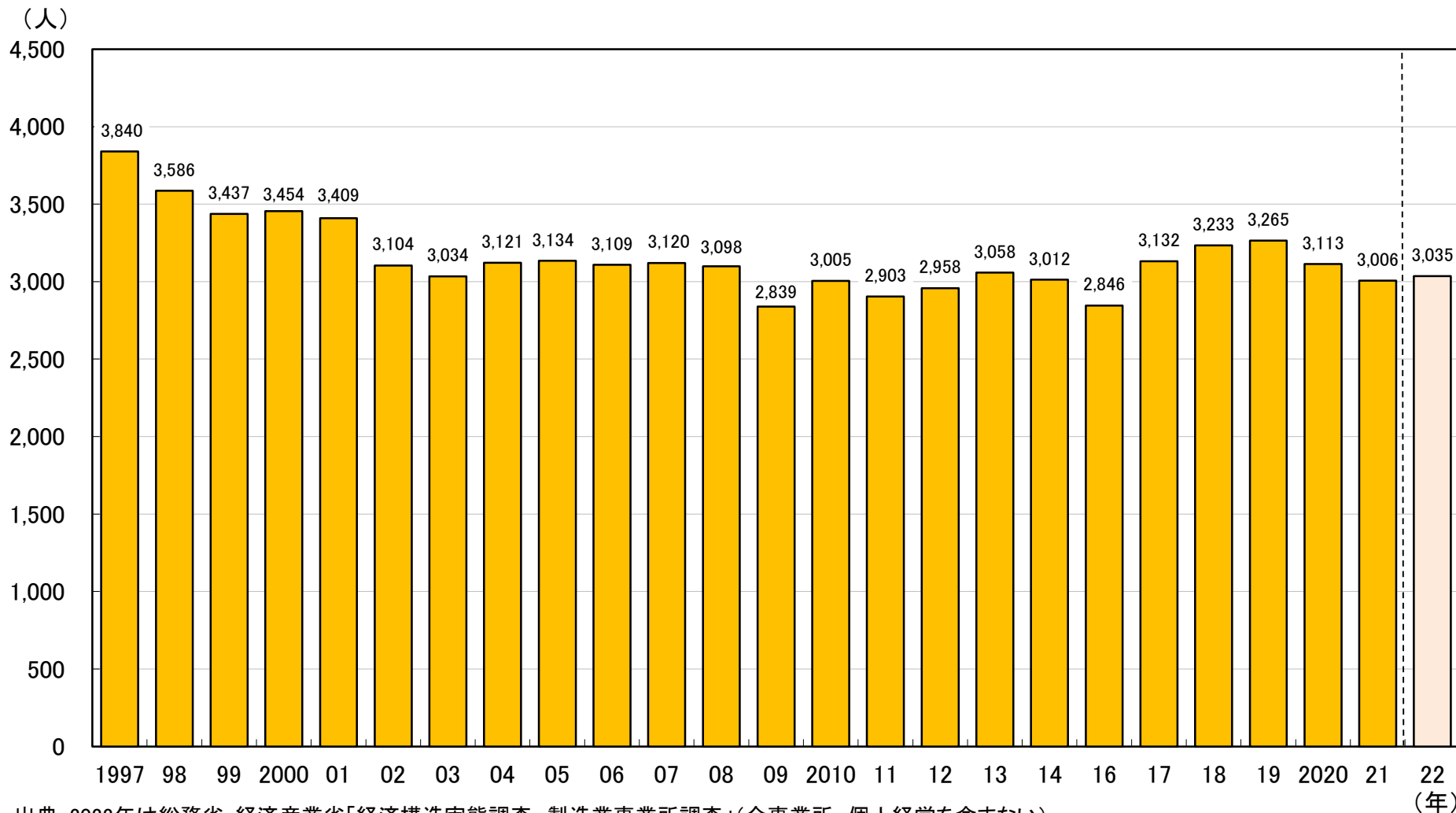
1997年～2019年は経済産業省「工業統計」（従業者4人以上）、ただし2011年、2015年、2020年は総務省「経済センサス-活動調査」（従業者4人以上）

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

（年）

製造業の従業者数は、近年減少傾向

製造業従業者数の推移（飛騨市）



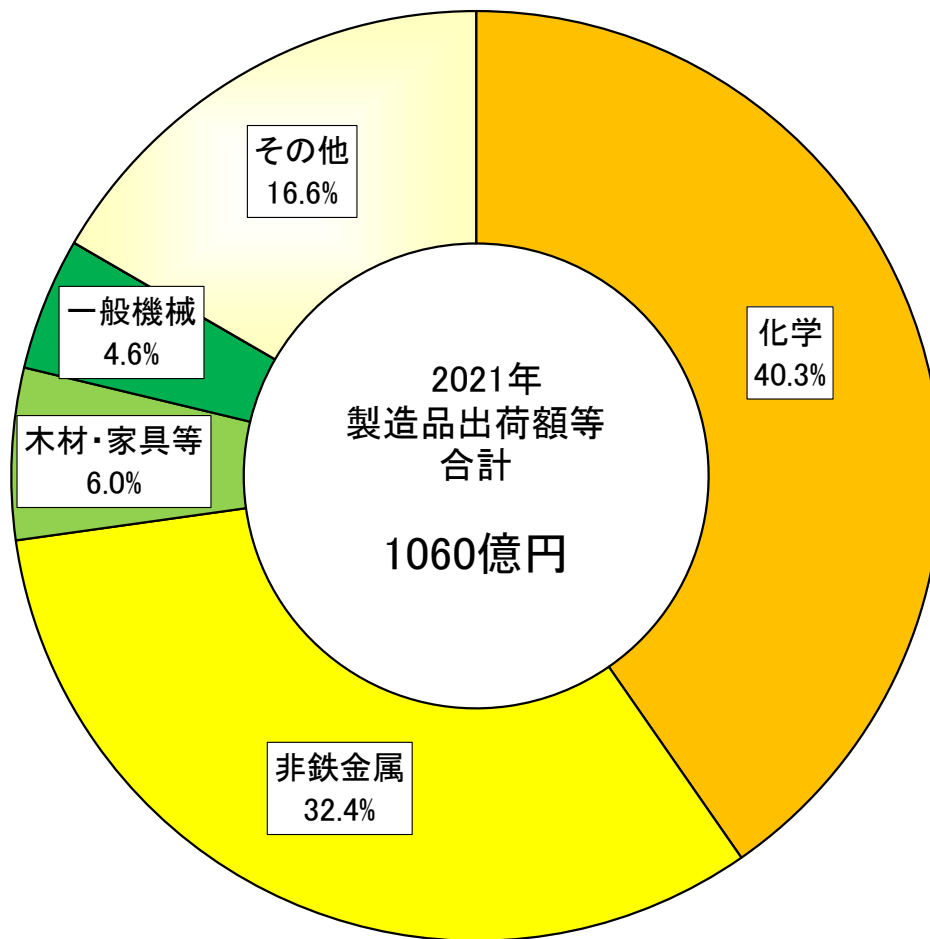
出典：2022年は総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」（全事業所、個人経営を含まない）

1997年～2020年は経済産業省「工業統計」（従業者4人以上）、ただし2012年、2016年、2021年は総務省「経済センサス-活動調査」（従業者4人以上）

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

化学工業が40.3%と最も多く、 次いで非鉄金属が32.4%を占める

製造品出荷額等の業種構成 < 飛騨市 >



出典：総務省・経済産業省「令和4年(2022年)経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

注1：「一般機械」=はん用機械器具+生産用機械器具+業務用機械器具

注2：「木材・家具等」=木材・木製品製造業(家具を除く)+家具・装備品製造業

注3：事業所数が少ないため製造品出荷額が秘匿となっている業種は「その他」に含む。

また、「一般機械」、「木材・家具等」は、内訳の業種に秘匿がある場合は、その業種の製造品出荷額は合算していない。「その他」に含む

注4：単位未満を四捨五入しているため、合計は100%とならない場合がある。